

# 子供の虐待テーマに 大物声優が朗読劇

横浜で26日

子供の虐待やいじめをテーマに、親と子の心情のずれを描き、自己の存在意義を問いかける「ハッピーバースデー」を原作とした朗読劇(毎日新聞横浜支局など後援)が26日、横浜市中区の関内ホールで行われる。07年11



月の児童虐待防止推進月間に初演して以来、計5回で約8200人を動員。今回は小中学生と保護者100組200人を招待し、更に広がりを見せそうだ。同書は金の星社刊で、主催者でもある特定非営利活動法人「神奈川県子ども未来ファンド」の青木和雄理事長と吉富多美理事の共著。児童書、コミック版などを合わせて150万部を売り上げたベストセラーだ。朗読劇では、洋画でステイブ・マックイーンの吹き替えをしてきた内海賢二さんや「サザエさん」でワカメちゃんの声などを担当してきた野村道子さんから大物声優が、本の登場人物になる。著者の吉富さんは「虐待は誰にでもあり得る。だから、虐待する人をバッシングするのではなく、自分もしているという意識を持つてほしい」と話す。公演は午後1時と5時の2回で、全席3000円。問い合わせはtvkチケットカウンタ1(045・663・9999)。

ってほしい」と話す。公演は午後1時と5時の2回で、全席3000円。問い合わせはtvkチケットカウンタ1(045・663・9999)。